

名古屋市観光客・宿泊客動向調査
（２０２３年）
概要版

令和６年１０月
名古屋市観光文化交流局

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（2023年）概要版

1 調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査結果の概要

(1) 観光客の入込動向

【観光入込客統計に関する共通基準の採用】

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準（2023年5月改定）」に基づき実施した。2023年については、全国観光統計基準に適合する89地点の観光入込客数を把握した。

【観光入込客延べ人数】

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体への入込客数調査によって観光入込客延べ人数を算出した。2023年の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約5,773万人となった。

■表 1 観光地点の分類別入込客数（推移）

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

観光地点等の分類		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
大分類	中分類					
学ぶ （見る・体験する）	自然	(1) 52,872	(1) 16,923	(1) 39,098	(1) 46,317	(2) 78,490
	文化・歴史	(43) 22,718,096	(32) 11,213,833	(36) 10,853,989	(38) 16,071,279	(33) 17,325,419
	産業観光	(5) 1,351,347	(5) 381,597	(4) 392,828	(5) 743,546	(8) 1,499,096
遊ぶ （楽しむ・ リフレッシュする）	スポーツ・ レクリエーション施設	(23) 19,898,495	(20) 8,180,852	(22) 9,306,271	(20) 11,565,737	(17) 13,140,144
触れ合う （交流する）	行・祭事	(13) 5,120,679	(3) 72	(4) 202,058	(12) 3,244,026	(13) 4,647,319
	イベント	(21) 23,850,109	(16) 11,827,025	(14) 13,669,845	(17) 18,451,278	(16) 21,039,813
計		(108) 72,991,598	(77) 31,620,302	(81) 34,464,089	(93) 50,122,183	(89) 57,730,281

注：調査観光地点数は、年によって変動する。

参考：「観光入込客統計に関する共通基準（2023年5月改定）」より抜粋

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。
- ②観光入込客が適切に把握できる地点であること。
- ③前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

この報告書に記載のある数値は四捨五入しているため、内訳の合計が合わない場合があります。

【観光入込客実人数の推計】

観光客の現状調査の回答から平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計したところ、2023年の観光入込客実人数は約3,522万人と算出された。

宿泊施設調査により、宿泊客実人数を推計した。観光客調査により、居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客・日帰り客実人数を推計した。

■表 2 観光入込客実人数（推移）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
観光入込客延べ人数（人）	72,991,598	31,620,302	34,464,089	50,122,183	57,730,281
平均訪問観光地点数	1.46	1.43	1.48	1.35	1.64
観光入込客実人数（万人）	4,999	2,211	2,330	3,719	3,522
宿泊客実人数（万人）	712	365	418	588	855
日帰り客実人数（万人）	4,287	1,846	1,912	3,131	2,667

■表 3 市内・市外別宿泊客数・日帰り客数（推計）

	実人数計	居住地割合		観光入込客実人数	
		名古屋市内	名古屋市外	名古屋市内	名古屋市外
観光入込客	3,522万人	36.9%	63.1%	1,300万人	2,222万人
宿泊客	855万人	0.5%	99.5%	5万人	850万人
日帰り客	2,667万人	48.6%	51.4%	1,295万人	1,372万人

【観光消費額の推計】

観光客調査により、観光入込客の名古屋市内での消費額を設定し、観光総消費額を推計した。2023年の名古屋市内の観光総消費額は約4,887億円と算出された。

■表 4 宿泊・日帰り別観光総消費額（推移）

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
宿泊客一人あたりの消費額		31,304円	28,594円	29,090円	30,841円	40,762円
日帰り客一人あたりの消費額	名古屋市内	3,088円	4,175円	3,546円	3,588円	3,509円
	名古屋市外	6,400円	7,701円	8,876円	8,825円	6,906円
宿泊客総消費額		2,229億円	1,044億円	1,216億円	1,813億円	3,485億円
日帰り客総消費額	名古屋市内	657億円	446億円	286億円	569億円	454億円
	名古屋市外	1,383億円	599億円	981億円	1,363億円	948億円
名古屋市内観光総消費額		4,268億円	2,089億円	2,483億円	3,746億円	4,887億円

■表 5 観光消費額（推移）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
飲食費消費額	1,341億円	540億円	701億円	1,137億円	1,317億円
交通費消費額	517億円	281億円	281億円	433億円	967億円
土産費消費額	802億円	348億円	679億円	1,030億円	872億円
宿泊費消費額	794億円	378億円	384億円	627億円	1,271億円
入場料消費額	431億円	250億円	218億円	396億円	384億円
その他消費額	383億円	293億円	220億円	123億円	75億円
観光総消費額	4,268億円	2,089億円	2,483億円	3,746億円	4,887億円

■表 6 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外在住
飲食費	10,011円	1,294円	2,138円
交通費	7,031円	523円	2,175円
土産費	6,075円	1,069円	1,559円
宿泊費	14,870円	－	－
入場料	2,430円	457円	856円
その他	345円	166円	178円
合 計	40,762円	3,509円	6,906円

■表 7 主な旅行費用項目別消費額（推計）

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外在住	
飲食費消費額	856億円	168億円	293億円	1,317億円
交通費消費額	601億円	68億円	298億円	967億円
土産費消費額	519億円	138億円	214億円	872億円
宿泊費消費額	1,271億円	－	－	1,271億円
入場料消費額	208億円	59億円	117億円	384億円
その他消費額	29億円	21億円	24億円	75億円
観光総消費額	3,485億円	454億円	948億円	4,887億円

(2) 観光地点入込客の実態

「名駅エリア」、「栄エリア」をはじめとする 9 つの観光エリアにおいて、2023 年 11 月 23 日（水）～11 月 26 日（土）の 4 日間、調査員が対面聞き取りにより調査した（合計 1,900 サンプル）。

■表 8 調査観光地点と入込客の居住地構成

		件 数 (人)	比率（％）											
			東 海	名 古 屋 市	愛 知 県 （ 名 古 屋 市 を 除 く ）	岐 阜 県 ・ 三 重 県 ・ 静 岡 県	関 東	近 畿	北 陸 ・ 甲 信 越	北 海 道 ・ 東 北	中 国 ・ 四 国	九 州 ・ 沖 縄	そ の 他	不 明
全 体		1,900	72.5	36.9	25.3	10.3	10.8	7.0	2.8	1.7	2.8	2.1	0.3	0.1
観 光 地 点	名駅エリア	208	40.4	24.5	7.7	8.2	24.5	14.9	3.8	3.8	6.7	5.3	0.5	0.0
	栄エリア	210	95.7	72.4	20.0	3.3	1.4	1.0	1.4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0
	大須エリア	209	85.7	34.0	33.0	18.7	3.8	5.7	1.9	0.5	1.9	0.0	0.5	0.0
	東山エリア	210	89.0	56.7	23.3	9.0	5.2	2.9	0.0	0.5	0.5	1.9	0.0	0.0
	伏見エリア	210	77.2	35.2	31.0	11.0	9.5	4.8	1.4	1.4	2.9	2.9	0.0	0.0
	名城エリア	210	61.4	33.8	17.6	10.0	20.0	7.6	1.4	1.0	4.8	3.3	0.0	0.5
	金城ふ頭エリア	217	83.4	27.2	44.2	12.0	6.0	6.9	2.3	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0
	ガーデンふ頭エリア	212	66.1	27.4	28.8	9.9	7.1	11.3	6.1	3.8	4.7	0.9	0.0	0.0
	熱田エリア	214	53.3	21.5	21.5	10.3	19.6	7.9	6.5	4.2	3.7	3.7	0.9	0.0

【観光地点別入込客の特性】

居住地をみると、「栄エリア」では名古屋市内の割合が最も多く、「名駅エリア」では関東からの訪問が多くなっている。

「栄エリア」では、10 代の訪問率が高い。20 代と 80 歳以上では「大須エリア」が高く、30 代と 40 代では、「金城ふ頭エリア」の訪問率が高くなっている。50 代から 70 代では「名駅エリア」が高い訪問率となっている。（本編参照）

■表 9 入込客の観光地点別 年齢構成

		件数 (人)	比率 (%)							
			10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
全 体		1,900	8.4	11.5	15.5	19.1	16.8	14.8	11.0	2.4
観光地点	名駅エリア	208	1.0	6.3	7.7	13.5	23.1	25.0	20.7	2.9
	栄エリア	210	14.3	4.3	6.7	10.5	12.9	23.8	22.4	4.3
	大須エリア	209	29.2	23.0	8.1	10.0	9.1	4.8	8.6	6.7
	東山エリア	210	6.2	7.6	23.3	17.1	13.8	20.5	9.5	1.9
	伏見エリア	210	7.1	17.1	20.5	22.4	11.0	9.0	11.0	1.9
	名城エリア	210	2.4	12.9	11.0	16.7	18.6	22.4	13.3	1.9
	金城ふ頭エリア	217	0.9	9.2	28.6	37.3	12.9	7.8	2.8	0.0
	ガーデンふ頭エリア	212	13.7	14.2	19.8	23.1	16.0	8.5	3.8	0.9
	熱田エリア	214	1.4	9.3	13.1	20.6	33.6	12.1	7.5	0.9

【観光入込客の訪問状況】

一人あたりの訪問施設数は 1.64 施設である。

観光地点相互でみると、「名駅エリア」においては、「名古屋城」、「トヨタ産業技術記念館」、「徳川園」が多くあげられており、観光客にとっての定番スポットと認識されていることがうかがわれる。

■表 10 主な観光施設入込客の訪問状況

	件数（人）	比率（％）											
		名古屋城	トヨタ産業技術記念館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	栄・久屋大通エリア	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋市科学館	レゴランド®・ジャパン	リニア・鉄道館
全 体	1,900	21.3	2.9	3.9	16.2	0.8	13.8	19.8	0.4	1.4	12.4	6.5	1.0
名駅エリア	208	41.8	13.0	18.3	10.6	0.0	2.4	16.8	0.5	1.0	3.8	1.0	0.5
栄エリア	210	3.3	0.5	1.9	1.4	0.0	1.0	97.6	0.0	10.5	0.5	0.0	0.0
大須エリア	209	3.8	1.9	1.9	3.3	1.0	4.8	17.7	0.5	1.0	4.8	1.0	0.5
東山エリア	210	2.9	0.5	0.5	0.5	0.0	100.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
伏見エリア	210	9.0	1.9	1.0	8.1	0.0	2.4	9.5	0.5	0.5	98.6	1.0	1.4
名城エリア	210	99.5	4.8	10.0	16.2	1.9	2.9	7.6	1.0	0.0	0.5	2.9	1.9
金城ふ頭エリア	217	1.8	0.5	0.0	1.8	0.0	1.8	0.9	0.0	0.0	0.5	47.0	2.8
ガーデンふ頭エリア	212	10.8	0.0	0.0	2.8	0.0	7.1	7.5	0.0	0.0	2.4	3.8	0.0
熱田エリア	214	19.6	2.3	2.3	99.5	4.2	2.3	15.9	0.9	0.0	1.4	0.9	1.9

※その他は本編参照

【観光入込客の旅行費用】

今回の旅行費用の平均額は、交通費 2,653 円、土産代 2,403 円、飲食代 3,609 円、宿泊代 12,467 円、入場料 1,071 円である。

■表 11 主な観光施設入込客の市内での消費額

	交通費	土産代	飲食代	宿泊代	入場料	その他の費用
平均額（円）	2,653	2,403	3,609	12,467	1,071	212

(3) 全国から見た名古屋の観光に関する評価

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、名古屋市を除く全国の18～79歳の男女個人を対象に、2024年1月にインターネットを用いてアンケートを実施した（1,000サンプル）。

【観光資源について（全国インターネット調査）】

名古屋の主要な観光資源についての認知度は「名古屋城」が最も高く、訪問意向・体験割合はともに「名古屋駅周辺の商業施設」が最も高くなっている。

■表 12 名古屋の主要観光資源について

(単位：%)

	名古屋駅周辺の商業施設	名古屋城	金シャチ横丁	徳川美術館	熱田神宮	四間道・円頓寺商店街	リニア・鉄道館	トヨタ産業技術記念館	ノリタケの森	名古屋科学館（プラネタリウムなど）	白鳥庭園	名古屋港（名古屋港水族館、シーレイ・インランド、ポートビルなど）	東山動植物園	栄（中部電力MIKASA TOWER、旧名古屋テレビ塔）、久屋大通公園（レイヤードヒサヤ、オオドリパーク）、オアシス21など
認知度		88.1	28.1	25.3	61.8	7.9	23.8	25.9	24.3	24.0	5.2	36.2	47.3	43.5
体験	50.1	41.1	13.3	6.3	27.6	3.1	6.3	7.8	9.0	6.2	1.7	10.1	12.2	24.5
訪問意向	34.6	33.9	21.0	19.3	28.5	7.7	18.4	16.6	15.0	11.6	7.0	18.3	20.9	18.3

	大須（大須観音・大須商店街）	覚王山（揚輝荘・日泰寺など）	文化のみち（二葉館など）	有松・鳴海絞会館など（街並み、有松・日本遺産）	桶狭間（桶狭間の戦いゆかりの地）	秀吉・清正記念館（中村公園）	レゴランド・ジャパン	なごやめし（味噌煮込み、ひつまぶし、さしめん、みそかつ、手羽先など）	名古屋まつり	につぼんど真ん中祭り	世界コスプレサミット	名古屋おもてなし武将隊	その他	知っているものはない
認知度	31.9	12.1	2.5	6.7	21.0	5.9	41.9	57.4	11.3	7.0	6.3	11.0	2.0	2.0
体験	14.3	3.3	1.1	2.1	2.6	1.6	4.5		1.3	1.4	0.9	1.7	3.9	14.2
訪問意向	16.4	7.0	5.5	10.3	13.8	9.7	15.3		8.7	5.2	4.6	5.1	1.6	8.1

【名古屋の観光地としての魅力について（全国インターネット調査）】

名古屋の観光地としての「魅力を感じる」は64.3%と6割半ばを占め、「魅力を感じない」は7.5%と1割未満である。また「どちらともいえない」は約3割となっている。

■表 13 名古屋の観光地としての魅力

(単位：%)

	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない
件数 1,000 (人)	64.3	7.5	28.2

■表 14 名古屋に観光地としての魅力を感じない理由

(単位：%)

	他の観光都市と比べて 観光イメージが希薄であること	名古屋の魅力が全国的に 十分知られていないこと	名古屋の魅力が市民に 十分知られていないこと	魅力ある観光施設が少ないこと	魅力あるイベントが少ないこと	魅力ある食べ物・飲食店が少ないこと	魅力あるおみやげ品が少ないこと	国内各地からの交通アクセスが 良くないこと	名古屋市内の交通アクセスが 良くないこと	都市の規模が小さく、 楽しみが少ないこと	夜に楽しめる場所が少ないこと (観光施設の閉館時間が早いことなど)	観光客と接する事業者などの 観光に対する意識が低いこと	まちがきれいでないこと	まちに緑が少ないこと	その他
件数 75 (人)	49.3	16.0	10.7	42.7	8.0	14.7	12.0	1.3	8.0	4.0	8.0	4.0	4.0	5.3	4.0

【名古屋の印象・旅行の満足度（観光客アンケート調査結果）】

観光入込客の名古屋の印象・旅行の満足度は、全体で「満足」（59.9％）と「ほぼ満足」（22.8％）を合わせた 82.7％が満足と評価している。

■表 15 観光入込客の名古屋の印象・旅行の満足度

		件 数 (人)	比率（％）					
			満 足	ほ ぼ 満 足	普 通	やや 不 満	不 満	不 明
全 体		1,900	59.9	22.8	14.3	1.3	0.3	1.4
観 光 地 点	名駅エリア	208	57.7	17.8	17.3	0.5	0.5	6.3
	栄エリア	210	61.9	22.9	12.9	1.4	1.0	0.0
	大須エリア	209	63.6	23.0	12.4	0.0	0.0	1.0
	東山エリア	210	62.4	20.0	16.7	0.5	0.5	0.0
	伏見エリア	210	64.8	21.0	13.3	0.5	0.5	0.0
	名城エリア	210	55.2	34.3	7.1	0.5	0.0	2.9
	金城ふ頭エリア	217	45.2	25.8	23.0	3.2	0.5	2.3
	ガーデンふ頭エリア	212	58.0	24.5	15.6	1.9	0.0	0.0
	熱田エリア	214	70.6	16.4	10.3	2.8	0.0	0.0
地 域	東海	1,377	58.1	23.0	16.2	1.6	0.3	0.8
	名古屋市	701	59.2	22.8	15.0	1.9	0.3	0.9
	愛知県（名古屋市を除く）	481	54.1	23.5	20.0	1.7	0.2	0.6
	岐阜県	70	54.3	27.1	14.3	1.4	1.4	1.4
	三重県	68	72.1	17.6	10.3	0.0	0.0	0.0
	静岡県	57	66.7	22.8	8.8	0.0	0.0	1.8
	関東	205	67.8	20.5	8.3	0.5	0.0	2.9
	近畿	133	60.9	21.8	12.8	0.0	0.8	3.8
	北陸・甲信越	53	64.2	24.5	7.5	1.9	0.0	1.9
	北海道・東北	32	68.8	28.1	0.0	0.0	0.0	3.1
	中国・四国	54	72.2	18.5	7.4	0.0	0.0	1.9
	九州・沖縄	40	50.0	30.0	15.0	0.0	2.5	2.5
	その他	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
性 別	男性	755	55.4	25.0	15.6	1.3	0.5	2.1
	女性	1,145	62.9	21.4	13.4	1.2	0.2	0.9
年 齢	10～19歳	160	81.9	11.3	6.9	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	219	68.0	18.3	11.9	0.5	0.5	0.9
	30～39歳	294	57.1	22.4	18.4	1.0	0.7	0.3
	40～49歳	363	53.7	27.0	16.0	1.9	0.0	1.4
	50～59歳	319	61.8	22.3	13.2	1.6	0.3	0.9
	60～69歳	282	56.0	26.6	13.8	1.1	0.0	2.5
	70～79歳	209	53.6	23.9	15.3	2.4	1.0	3.8
	80歳以上	45	55.6	26.7	17.8	0.0	0.0	0.0

(4) 宿泊施設の状況

市内宿泊施設に調査票を配布し、施設の概要ならびに宿泊客数などを把握した。市内の総宿泊客数は、回答施設の実績から未回答分を推計し算出した。

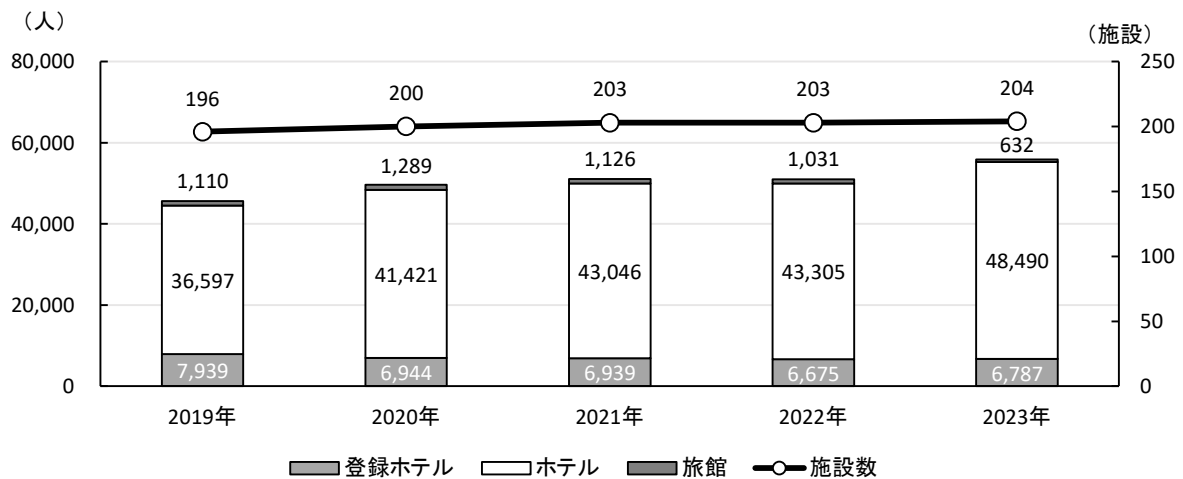
【宿泊施設数】

施設数では、登録ホテルが 11 施設、登録ホテルを除くホテルは 176 施設、旅館は 17 施設となった。また、室数の合計は 32,429 室、収容人数の合計は 55,909 人となった。

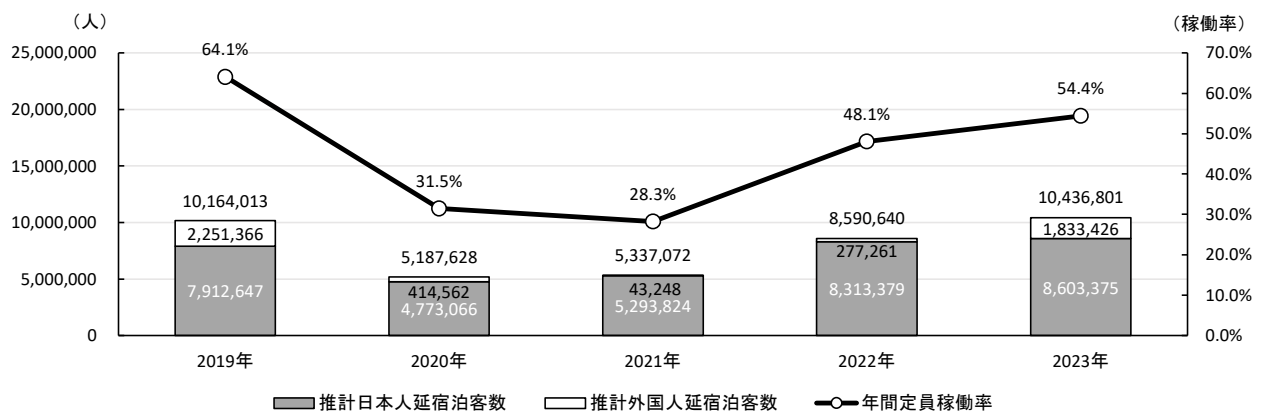
【年間宿泊客数】

2023 年の全施設の年間総延べ宿泊客数は約 1,044 万人であった。また、全施設の年間総実宿泊客数は約 855 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.22 日と推計される。

■ 図 1 市内宿泊施設収容人数及び施設数（推移）



■ 図 2 施設推計延べ宿泊客数及び定員稼働率（推移）



■表 16 宿泊客数及び定員稼働率の推計値（推移）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
年間総延べ宿泊客数（人泊）	1,016万人	519万人	534万人	859万人	1,044万人
日本人延べ宿泊客数（人泊）	791万人	477万人	529万人	831万人	860万人
外国人延べ宿泊客数（人泊）	225万人	41万人	4万人	28万人	183万人
年間総宿泊客数（人）	712万人	365万人	418万人	588万人	855万人
日本人実宿泊客数（人）	577万人	342万人	416万人	577万人	761万人
外国人実宿泊客数（人）	135万人	23万人	2万人	12万人	94万人
平均宿泊日数（※1）	1.43	1.42	1.28	1.46	1.22
日本人平均宿泊日数（※1）	1.37	1.39	1.27	1.44	1.13
外国人平均宿泊日数（※1）	1.67	1.78	2.00	2.33	1.95
年間定員稼働率（％）	64.1%	31.5%	28.3%	48.1%	54.4%

※1 平均宿泊日数は延べ宿泊客数を宿泊客数(実人数)で除することにより算出

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊客数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊客数÷年間収容可能人数

【国別外国人宿泊客数】

国別の外国人宿泊客数について回答が得られた施設は43施設であった。

国別の外国人宿泊客数は「中国」が全体20.3%と最も高く、次いで、「台湾」（19.3%）、韓国」（13.6%）となっている。

■表 17 国別外国人宿泊客数

	2023年						2022年
	登録 ホテル	ホテル	旅館	全体			全体
				回答人数 (人)	推計人数 (人)	割合	割合
回答数（施設数）	7	28	8	43	-	-	-
中国	12,270	22,990	45	35,305	191,652	20.3%	12.8%
香港	4,585	9,216	5	13,806	74,946	7.9%	8.8%
台湾	10,476	23,026	19	33,521	181,968	19.3%	9.6%
韓国	9,918	13,641	45	23,604	128,134	13.6%	12.7%
米国	4,059	4,273	17	8,349	45,322	4.8%	6.1%
タイ	5,877	14,104	10	19,991	108,521	11.5%	16.2%
シンガポール	7,291	1,701	0	8,992	48,813	5.2%	4.6%
インドネシア	1,573	1,332	0	2,905	15,770	1.7%	3.2%
ベトナム	4,184	2,745	10	6,939	37,668	4.0%	5.2%
マレーシア	851	1,317	0	2,168	11,769	1.2%	1.9%
英国	1,284	822	10	2,116	11,487	1.2%	2.5%
ドイツ	1,773	962	10	2,745	14,901	1.6%	1.5%
フランス	1,200	864	17	2,081	11,297	1.2%	0.9%
オーストラリア	1,209	1,406	7	2,622	14,233	1.5%	1.6%
イスラエル	98	124	1	223	1,211	0.1%	0.2%
フィンランド	0	0	11	11	60	0.0%	-
スイス	0	0	1	1	5	0.0%	0.0%
ミャンマー	0	4	0	4	22	0.0%	0.0%
インド	0	127	0	127	689	0.1%	3.2%
イタリア	191	5	0	196	1,064	0.1%	0.0%
カナダ	0	245	0	245	1,330	0.1%	0.2%
モンゴル	0	6	0	6	33	0.0%	0.0%
フィリピン	110	1,986	0	2,096	11,378	1.2%	8.8%
スペイン	48	31	0	79	429	0.0%	0.0%
ロシア	0	12	0	12	65	0.0%	0.0%
オーストリア	0	14	0	14	76	0.0%	-
オランダ	0	8	0	8	43	0.0%	0.0%
ニュージーランド	0	6	0	6	33	0.0%	0.1%
スリランカ	0	5	0	5	27	0.0%	0.0%
ブラジル	0	3	0	3	16	0.0%	-
トルコ	0	2	0	2	11	0.0%	0.1%
カンボジア	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
アラブ首長国連邦	0	201	0	201	1,091	0.1%	-
メキシコ	0	109	0	109	592	0.1%	0.0%
その他	0	5,214	0	5,214	28,304	3.0%	2.2%
合計	66,997	106,501	208	173,706	942,958	100.0%	100.0%

(5) 主要観光施設の入込客数

■表 18 主要観光施設別入込客数（推移）

（単位：人）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
名古屋城	2,205,544	648,089	677,989	1,262,701	1,999,343
東山動植物園	2,514,391	1,343,593	1,756,409	2,251,396	2,649,115
東山スカイタワー	273,380	108,175	153,627	241,391	305,253
中部電力 MIRAI TOWER	10,307	58,745	87,818	133,570	168,915
熱田神宮	7,405,049	5,642,933	3,100,507	4,720,911	5,634,520
名古屋港*1	465,043	177,173	230,248	374,226	424,567
名古屋市科学館	1,335,840	478,336	635,764	1,006,206	1,210,957
徳川美術館	232,429	71,069	101,242	132,653	202,367
名古屋市博物館*2	523,006	164,308	232,316	276,697	192,452
東谷山フルーツパーク	503,145	376,754	444,703	485,270	445,481
農業文化園・戸田川緑地	1,062,155	792,907	919,030	992,835	1,410,888
でんきの科学館	339,828	53,700	63,873	139,394	276,404
名古屋市美術館*3	349,676	1,273	134,902	382,766	180,816
名古屋港水族館	2,195,713	937,529	1,255,084	1,844,811	2,381,489
トヨタ産業技術記念館	459,353	95,604	107,172	200,307	351,184
白鳥庭園	165,877	98,156	115,706	113,470	128,008
市政資料館	108,023	45,844	61,040	83,590	95,716
名古屋能楽堂	157,513	57,475	66,048	104,802	108,039
愛知県美術館	683,200	328,086	452,327	428,372	400,167
名古屋市農業センター	554,046	375,073	337,821	333,930	126,059
有松・鳴海絞会館	164,787	107,173	62,776	91,511	90,363
久屋大通庭園フラリエ	579,101	366,363	433,458	498,064	556,095
ノリタケの森	327,871	113,992	85,764	227,691	150,634
ブルーボネット 注1	45,129	25,017	46,945	60,486	64,426
徳川園	352,563	168,615	182,694	259,364	290,747
文化のみち二葉館	33,750	11,171	14,876	21,736	23,476
スカイプロムナード	94,904	46,944	60,606	114,643	148,089
リニア・鉄道館	440,982	145,975	179,892	266,553	333,093
パロマ瑞穂スポーツパーク	1,474,347	554,655	665,556	846,487	972,023
バンテリンドーム ナゴヤ	5,179,563	1,093,807	926,784	3,032,421	3,523,209
主要観光施設の 入込客数合計	30,236,515	14,488,534	13,592,977	20,928,254	24,843,895

*1 名古屋港：ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計

*2 名古屋市博物館：常設展示室、部門展示室、特別展示室、講堂入場者延人数。2023年10月1日からリニューアル改修のため休館

*3 名古屋市美術館は2022年11月28日～2023年4月14日まで改修工事のため休館

注1:ブルーボネットは2023年12月25日からリニューアル改修のため休園



名古屋市観光客・宿泊客動向調査概要版

(2023年)

令和6年10月発行

発行 名古屋市観光文化交流局

業務委託先 株式会社サーベイリサーチセンター

(この冊子は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。)